

# 台湾の脱原発と韓国原発暴走

— ノーニュークス・アジアフォーラムの30年 —

## お話: 佐藤大介 (ノーニュークス・アジアフォーラム・ジャパン事務局)

1月13日の台湾総統選挙で、脱原発を掲げる民進党の頼清徳が勝利しました。立法院(国会)では民進党が過半数を失いましたが、台湾の人々は必ず、来年5月に「原発ゼロ」「アジア初の脱原発」を実現するでしょう。

日立・東芝が原子炉を輸出し、ほぼ完成した第四原発は、人々の長年にわたるたたかいと、福島原発事故以後の大規模なデモ・道路占拠、公民(国民)投票によって、稼働を阻止しました。

第一原発2基と第二原発2基は、40年の寿命を延長せず、2018~23年に停止しました。第三原発1号機は今年7月、2号機は来年5月に、40年の寿命で停止します。

韓国の原発暴走は日本とよく似ています。コリ2号機など10基の原発の寿命を延長し、各原発敷地内に使用済み核燃料の乾式貯蔵施設を建設し、新規の原発を建設し、原発輸出を進めようとしています。

フィリピン、インドネシア、タイ、インド、トルコなどアジア各地の人びとは、国際的に連携する原発推進勢力と闘ってきました。それは民主主義を求める闘いでもあります。

昨年9月に韓国で開催された第20回ノーニュークス・アジアフォーラムで大きな話題となった台湾や韓国の状況を中心に、アジア各国についても報告します。みなさん、ぜひご参加ください。

\*\*\*\*\*

## 2月29日(木)

18:00~20:00 (17:30 開場)

会場:「スペースたんぽぽ」 **予約必要**

東京都千代田区神田三崎3-1-1 高橋セーフビル1F

参加費:800円 連絡先:03-3238-9035

\*\*\*\*\*

## 3月2日(土)

14:30~16:30 (14:00 開場)

大阪市立総合生涯学習センター・第4研修室

(大阪駅前第2ビル5F)

参加費:800円 連絡先:080-6174-8358



時の人

アジアで脱原発運動の最前線に立ち続けて30年。核と原発のないアジアを目指す「ノーニュークス・アジアフォーラム」(大阪府豊中市)を1993年に立ち上げ、事務局長を務める。81年、大阪府で労働福祉関係の仕事に就く。日



アジアの脱原発運動30年  
佐藤大介さん  
先住民族が暮らす離島に放射性廃棄物が持ち込まれ激しい抗議が起きた。エネルギー問題は権力と距離が近い。原発反対の声を上げると「国益に反する」と非難され、軍事独裁政権の下では、容赦ない弾圧もある。「孤立して権力と対峙せず、SOSを出せば仲間が各地にいると伝えたい」国内や韓国、タイなど各地で脱原発フォーラムを計20回開催。2025年までの脱原発を掲げる台湾には30年で約50回通った。19年には当時の陳建仁副総統(現・行政院長)に仲間たちと面会し「長年の脱原発運動に感謝する」と謝意を伝えられた。「どの国でも政府でやってきたので不思議。でも少しは貢献したかな」と笑う。  
東京電力福島第1原発事故の後、脱原発のうねりが急拡大したが、ロシアのウクライナ侵攻を受け、原発回帰の動きも目立つ。「各地に反対の声を上げ続ける人がいるのを忘れないで」と訴える。趣味はアジア映画観賞。東京都出身。66歳。